

令和 5 年度
(2023 年度)

自己点検・評価報告書

令和 5 年(2023 年) 4 月 1 日から
令和 6 年(2024 年) 3 月 31 日まで

令和 6 年(2024 年)4 月 26 日

学校法人吉田学園
吉田学園医療歯科専門学校

■令和5年度 学校自己点検・評価について

〈説明〉

医療系専門学校の社会的責任を果たすため、本校の校訓や教育目標、教育実績などの実態と照らし合せ、自らの教育研究活動等の状況を自己点検、自己評価し、現状の把握・認識に努め、課題や改善を要する点などを検証し、教育の質・水準の向上、学校関係者への報告によるガバナンスの改善につなげるとともに組織的、かつ継続的な取り組みを図り、学校運営力の向上に努めていくことを目的に実施する。

1. 対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2. 委員会開催

第1回 令和6年4月26日

3. 実施方法

(1)実施組織:自己点検・評価委員会

○委員長: 河原 範毅 校長

委 員: 三上 剛人副校長、齋藤 勤副校長補佐

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠している。

(3)評価方法:各学科別の自己点検評価をもとに学校自己点検評価を行い自己点検・評価委員会にて評価の適正化を諮り策定を行う。

4. 評価項目

- (1)教育理念・目標
- (2)学校運営
- (3)教育活動
- (4)学修成果
- (5)学生支援
- (6)教育環境
- (7)学生の受け入れ募集
- (8)財務
- (9)法令等の遵守
- (10)社会貢献・地域貢献
- (11)国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1)4段階で評価している。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2)それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策についてコメントする。

1 学校の教育目標

- (1) 教育目標 「自分には自信を 学校には誇りを 社会には愛を」
- (2) 校訓 「自彊 自修 自立」
- (3) スクールアイデンティティ(S・I) 「プロの中のプロ」(を育てる)
《プロフェッショナル育成のコンセプト》
 - ① 技能の修得や資格の取得に努めさせる
 - ② 社会人としての素養を身につけ、人間性の陶冶に努めさせる
 - ③ 一流の職業人として“請われる人材”になるよう努めさせる

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学園目標（専門学校グループ）を受け、

- (1) 入学者 医療歯科全体 「入学者数目標 305 名(定員充足 355 名)」
- (2) 在籍率 医療歯科全体 「94%以上」
- (3) 就職率 医療歯科全体 ①「卒業生者数に対して 90%以上」
- (4) 資格取得率 各学科 「国家試験 100%」、「他各種資格 100%」
- (5) 活動目標 (1) 教育基軸手法を用いた、教育課題の検証と改善
活動目標 (2) ICT 教育と学修管理システム(LMS)を用いた、より高い学習効果の実現
活動目標 (3) 3 ポリシーの定着化、教育課程・教育体制の検証と改善
活動目標 (4) 多様な学生の受入環境及び学習支援環境の整備
活動目標 (5) コンプライアンスの遵守、業務の効率化、新学籍システムを用いた業務の見直し、業務プロセスの改善
活動目標 (6) 学園の規模を活かした一体的取組の推進、高校との連携
活動目標 (7) 社会のニーズに合わせた学校・学科構成の見直し、新たな取り組みの検証と見直し

3 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(1)-1	学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	4
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
(1)-4	学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
(1)-5	学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(2) 学校運営

評 価 項 目		適 切…4 ほ 適 切…3 や や 不 適 切…2 不 適 切…1
(2)-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(2)-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(2)-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(2)-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(2)-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
(2)-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
(2)-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(3)教育活動

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3)-2	教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(4) 学修成果

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(4)-1 就職率の向上が図られているか	3
(4)-2 資格取得率の向上が図られているか	3
(4)-3 退学率の低減が図られているか	3
(4)-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- (4)-1 一部学科では、目標未達となった。国家資格取得が就職率に結びつくため、国家資格取得向上が必要である。
- (4)-2 目標未達の学科があった。合格率が向上した学科もあるが、更に向上を目指す。
- (4)-3 様々な理由により学習継続が困難な学生も多く、進路変更による退学も増加し目標を達成出来なかった学科があった。

② 今後の改善方策

- (4)-1 早期からキャリア教育を行い専門職への意識向上を行う。資格を活用した仕事のやりがい、将来設計や活躍場所についての理解を深める教育を行う。
- (4)-2 入学時から国家試験受験までの一貫した対策内容をスケジュール感を持って実施し、効果測定を行う。実施した施策ごとに検証を行い再構築する。また、学科間でノウハウを共有することで、学校として効率的な取り組みの充実を図り、安定した合格率達成を目指す。
- (4)-3 キャリア教育を行うことで学生に対し、医療人としての覚悟、取り組み、やりがいを浸透させ、学びのモチベーション向上を図る。また、学業不振による退学に対しても(4)-2とも合わせて取り組む。

③ 特記事項

(5) 学生支援

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	4
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	4
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
(5)-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(6)教育環境

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(6)-1 施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(6)-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
(6)-3 防災に対する体制は整備されているか	4

① 課題

② 今後の改善方法

③ 特記事項

(7)学生の受入れ募集

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(7)-1 学生募集活動は、適正に行われているか	3
(7)-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
(7)-3 納付金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

(7)-1 歯科技工学科、医療事務クラーク学科は、目標に達することが出来なかった。

② 今後の改善方策

(7)-1 上記2学科は、職業認知が低い職種のため、対象を高校生だけではなく社会人に広め、業界と協力して魅力を発信することで認知度の向上を目指す。

③ 特記事項

(8)財務

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(8)-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
(8)-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
(8)-3 財務について会計監査が適正に行われている	4
(8)-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(9)法令等の遵守

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(9)-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9)-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9)-3 自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
(9)-4 自己点検・評価結果を公開しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(10)-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(10)-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
(10)-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(11) 国際交流

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(11)-1 留学生の受入れについて戦略を持って行っているか	—
(11)-2 留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—
(11)-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—
(11)-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	—

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

総 括

年度当初に定めた重点項目や計画、課題解決に向けた取組、学校関係者評価委員会の意見に対する取組などに関する総括

学校関係者評価委員会においては、2022年度の自己点検・評価報告に対し、国家試験対策やインターンシップ、社会貢献の在り方などについて貴重な意見をいただいたところであり、これらを踏まえ、医療業界におけるプロフェッショナルな人材育成を図るために引き続き、学校運営の充実と教育の質・水準の向上に努めていくことを確認した。

2023年度の重点的な目標・取組事項としては、①入学者数、②在籍率、③就職率、④資格取得率の4項目について数値目標を掲げ、各学科の指導・支援を中心に学科間の連携・協力体制を深めながら、教職員が一致協力して取り組んできたが、入学者数、資格取得率は例年になく苦戦を強いられ大きな課題を残した。

各学科が抱える課題に差異はあるものの、あらためて学科としての取組を振り返り、教育力向上に向けた新たな取組や教授法等も積極的に導入することが求められる。本学では教育機軸を構築しており、2023年度に引き続き本学の教育基軸に基づく教育手法や教授法を研究するなど、教員は研鑽を更に極めて行かなければならないと考える。

これらの取組を通し、2024年度においては、あらためて国家試験全員合格達成を目標に掲げ、学生の満足に応え得る学校・学科運営を目指す。

また、年々深刻かつ顕著となっている基礎学力低下や自己学習の習慣化未定着等、根本的な課題・問題に今期も向き合い、引き続き早い段階で定期的に面談を行うほか、基礎学力の定着を図る取組や補講などの個別指導、医療等専門職としての職業意識を高める教育活動を推進して参りたい。